

会議結果のお知らせ

1 開催した会議の名称

平成 30 年度第 2 回岩手県大規模事業評価専門委員会

2 開催した日時

平成 30 年 8 月 7 日（火） 14：00～15：40

3 開催場所

岩手県企業局県南施設管理所等

4 出席委員

8 名（全員）

5 専門委員会議題等

(1) 議題

ア 大規模施設整備事業の事前評価【(仮称) 工業用水道浄水場建設事業（北上工業団地）】

○政策推進室から第 1 回大規模事業評価専門委員会での審議概要及び県民意見募集の実施結果について説明があった。

○引き続き、企業局から第 1 回大規模事業評価専門委員会での確認事項に関し補足説明があった。

■専門委員からの主な質疑等は次のとおり

(意見)

植物調査について、夏季 1 回のみ調査であり時期を変えての調査も必要。また、特に河川法面には春季にしか見られない植物が生息する可能性があることから留意すること。

鳥類調査について、オジロワシの飛来や営巣等に影響がないか再度確認し必要な対応をとること。

(回答)

事業実施に当たっては、更に動植物調査を実施し、生息が確認された場合は必要な対策を講じることとしたい。

(質疑)

減価償却費が一定期間減少し、その後増加する理由は何か。耐用年数が 45 年であればその期間は設備の更新は生じないのではないか。

(回答)

一定期間使用した後必要な設備を更新する計画としており、それによる減価償却費が増加するもの。耐用年数は施設を構成する設備により異なり、平均すると 45 年程度となるもの。

(質疑)

企業から提出された工業用水使用計画に基づき供給能力を上げていくのか。どの程度

の余力を見ているのか。

(回答)

そのとおり。安定的に工業用水を供給するため、最終的に、供給能力の 85%程度が想定需要となるように整備する計画である。

(意見)

経済産業省マニュアルの B/C 算出方法に疑義がある。工業用水の調達コスト削減便益 (B) の算出式では既に C (費用) が控除されており、それをさらに C で割り返すのはおかしい。

(回答)

委員から示された疑義事項については、経済産業省に伝えることとしたい。

(質疑)

新たに供給する分の排水はどのように処理をするのか。

(回答)

工業団地内の工場排水は、北上市の終末処理場で処理されており、市において、新たな終末処理場の整備を検討していると聞いている。

(意見)

最近は過去にないような雨量が計測されている。設計に当たっては、そういった点も考慮していただきたい。

(回答)

詳細設計にあわせて検討していきたい。

(2) 会議資料

- 資料 No. 1 平成 30 年度 第 1 回大規模事業評価専門委員会の審議概要について
- 資料 No. 2 (仮称) 工業用水道浄水場建設事業 補足説明資料
- 資料 No. 3 大規模事業評価についての県民意見募集の実施結果
- 参考資料 No. 1 行程表
- 参考資料 No. 2 位置図

※ 会議資料及び会議録については、行政情報センターへ配架するとともに、県のホームページに掲載します。

6 傍聴人数

一般 0 人、報道 1 社

7 問い合わせ先

盛岡市内丸 10 番 1 号

岩手県政策地域部政策推進室 TEL : 019-629-5181 FAX : 019-629-5254

8 ホームページアドレス

<http://www.pref.iwate.jp/seisaku/hyouka/hyoukasenmon/66200/067276.html>

9 その他

政策等の評価について御意見がありましたら、上記問い合わせ先まで **FAX** 等でお寄せください。今後の専門委員会での審議の参考とさせていただきます。